

子どもが安心して学べる学校

いじめを許さない学校

思いやり溢れる学校

基本方針

- \* 重点目標：「自ら求め成し遂げる（自求成遂）」の推進
- \* 5つの柱の推進「命を大切にします」「自分や他人の人格を尊重します」「集団生活の秩序を守ります」「学習の場にふさわしい身だしなみをし、持ち物にも留意します」「礼儀正しく品位ある言動をとります」
- \* わかる授業の推進 授業で活躍できる生徒 自己肯定感を持たせる
- \* 誰もが安心して学べる学校
- \* 「あいさつ」「ありがとう」があふれる学校

【未然防止】

- \* 温かで自治力のある学級・学年経営
- \* わかる授業の実践
- \* 道徳教育、人権教育の充実（ピア・サポート）
- \* 集会・学年行事等の充実をはかり一人一人を生かす場を工夫する

— 昨年度の取り組みの評価 —

- ・『Good job 自分』（ピアサポート活動）の実施
- ・学校を楽しんでいる生徒・・・83%（学校評価）
- ・授業の内容が分かっている生徒・・・79%（学校評価）
- ・自分や他人の人格を尊重している生徒・・・96%（学校評価）

【早期発見】

- \* いじめに関するアンケートの実施
- \* 生活ノート（北極星）の点検
- \* 全生徒が教師と面談の機会をもつ（ポラリスタイム、教育相談等）
- \* 生徒が教師に対して、何でも話せる・書ける関係づくり
- \* 生徒への日常的な声掛け

— 昨年度の取り組みの評価 —

- ・学校独自に生活実態調査（年3回実施）
- ・臨時休校の中での個別面談の実施

【早期対応】

- \* 気になった生徒へ早めに関係職員が声をかける
- \* 報告、連絡、相談の徹底
- \* 担任だけでなくチームで対応する（フレキシブルに動く、直ちに集まる）

— 昨年度の取り組みの評価 —

- ・年間29回の定例生徒指導部会で対応検討
- ・年間25回のサポート会議で支援の必要な生徒への対応検討

【小中一貫教育とPTA、地域との連携】

- \* 小中一貫教育のスタート、小学校との連携を密にする
- \* PTA本部会、運営委員会で情報を共有する
- \* 学校の取り組みを学校だより等で保護者や地域に発信する
- \* 地域の方との連携の充実

【児童生徒が自ら考える場・機会の設定】

- \* 学級活動・道徳の授業で「いじめについて考える場」を設定する
- \* 生徒会総務、生活、広報、図書、保健等の関連専門委員会によるいじめ撲滅運動や啓発活動、ピア・サポート活動の推進

【いじめ対策委員会】

委員  
 校長、教頭、教務主任、生徒指導主事、学年主任、特別支援教育コーディネーター、学級担任、養護教諭  
 場合によって、スクールカウンセラー  
 スクールソーシャルワーカー、特別支援教育支援員、学校運営協議会ディレクター

【職員研修・指導体制】

- \* サポート会議、生徒指導部会の充実、連携
- \* 「一報」による情報の共有 \* 生徒理解研修 \* 夏季研修会
- \* 事例研究会の実施 \* 生徒理解ファイル
- 【特別支援教育の推進】 \* 生徒の学びやすさ、生活のしやすさ
- \* ユニバーサルデザインの考えを環境面、学習面に生かす
- \* 北中UDプロジェクト
- 【生徒と向き合う時間の確保】 \* 勤務の適性化と効率化

【関係機関との連携】

- ・市教育委員会
- ・藤枝市子ども家庭課
- ・中央児童相談所
- ・少年サポートセンター